

うおづ 市議会だより



魚津市成人式(令和4年1月9日)

主な内容

- 11月臨時会/12月定例会審議結果 …… 2～3
- 常任委員会審査内容 …… 4
- 代表・個別質問 …… 5～9
- 常任・特別委員会行政視察報告/
3月定例会日程 …… 10～11
- 会議日誌/編集後記 …… 12

No.199

令和4年2月1日発行

令和3年
11月臨時会/12月定例会



編集/議会だより編集委員会
発行/魚津市議会

〒937-8555 魚津市釈迦堂一丁目10番1号
☎ 0765-23-1041 e-mail gikai@city.uozu.lg.jp



うおづ市議会だよりは、「まもりがみいかわの守紙」を使用しています。
いかわの守紙は、新川地区の間伐材を有効活用することを目的として生み出された紙です。

【特別会計】			
国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	3,944,163	166,584	4,110,747
後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	1,284,036	△ 3,816	1,280,220
介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	5,430,383	△ 225	5,430,158
水族館事業特別会計補正予算(第1号)	251,274	10,626	261,900

12月定例会審議結果一覧

議 案

番 号	件 名	結 果
第69号	令和3年度魚津市一般会計補正予算(第9号)	可 決
第70号	令和3年度魚津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	
第71号	令和3年度魚津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	
第72号	令和3年度魚津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	
第73号	令和3年度魚津市水族館事業特別会計補正予算(第1号)	
第74号	魚津市基金条例の一部改正について	
第75号	魚津市税条例の一部改正について	
第76号	魚津市国民健康保険税条例の一部改正について	
第77号	魚津市印鑑条例の一部改正について	
第78号	魚津市西布施地域活性化センター条例の一部改正について	
第79号	魚津市コミュニティセンター条例の一部改正について	
第80号	魚津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
第81号	魚津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
第82号	魚津市国民健康保険条例の一部改正について	
第83号	魚津市公民館条例の一部改正について	
第84号	魚津市家畜種付条例等の廃止について	
第85号	魚津市有線テレビジョン放送施設の指定管理者の指定について	
第86号	東蔵農村集落センターの指定管理者の指定について	
第87号	黒沢農村集落センターの指定管理者の指定について	
第88号	北山農村集落センターの指定管理者の指定について	
第89号	松倉農山村文化交流館の指定管理者の指定について	
第90号	令和3年度魚津市一般会計補正予算(第10号)	同 意
第91号	魚津公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 田林 博 氏を選任することに同意	

議員提出議案

番 号	件 名	結 果
第9号	最低賃金の引き上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書について	可 決

陳 情

番 号	件 名	結 果
第1号	魚津市岡仏町内道路の市道認定について	採 択

11月臨時会

11月臨時会は、11月30日に開かれ、令和3年度一般会計補正予算及び条例の改正について審議しました。

議 案

番 号	件 名	結 果
第67号	令和3年度魚津市一般会計補正予算(第8号)	可 決
第68号	魚津市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	

補 正 予 算

(単位：千円)

議 案 名 と 主 な 内 容	補正前の額	補 正 額	補正後予算額
【一般会計】補正予算(第8号)	18,141,184	290,430	18,431,614
・子育て世帯への臨時特別給付(先行給付分)		268,463	
・コロナ禍における福祉燃油助成事業		21,967	

12月定例会

12月定例会は、12月2日から12月20日までの19日間の日程で開会し、令和3年度一般会計・特別会計補正予算や条例の改正などについて審議しました。

可 決 した 主 な 議 案

補 正 予 算

(単位：千円)

議 案 名 と 主 な 内 容	補正前の額	補 正 額	補正後予算額
【一般会計】補正予算(第9号)	18,431,614	452,155	18,883,769
コロナ対策 計145,748千円			
・新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)		94,956	
・小中学校ICT活用推進(フィルタリング等)		21,497	
・魚津の宿泊割引事業(魚旅・期間延長)		15,000	
・公共交通運行維持支援(鉄道・バス)		12,095	
・映画PRキャンペーン事業(牛首村)		1,200	
・学校教育活動継続支援(感染症対策等)		1,000	
コロナ禍の影響への対応 計 40,777千円			
・イベント中止等に伴う事業費の減額		△ 15,914	
・指定管理者等への支援(減収補てん)		24,319	
・使用料等収入の減収対応		32,372	
その他事業 計 265,630千円			
・人件費補正(人勤に伴う期末手当△0.15月等)		△ 57,195	
・ふるさと寄附		100,000	
・(仮称)本江地域交流センター建設事業		100,000	
・清流小学校敷地購入等		52,000	
・市営住宅除却(住吉・小川田)		16,300	
・水族館改修(自家発電設備等)		9,600	
・救助工作車購入負担金		5,092	
・児童手当制度改正に伴うシステム改修		3,855	
・歴史民俗博物館石綿調査・監視カメラ更新		2,500	
・水族館「魚津のさかな」発行(70周年記念)		1,500	
・自治体情報システム標準化・共通化対応		748	
・新川学びの森天神山交流館不用品廃棄処理		500	
・サイクリストに優しい環境整備		275	
ほか10事業		30,455	
【一般会計】補正予算(第10号)	18,883,769	267,668	19,151,437
・子育て世帯への臨時特別給付(追加給付分)		267,668	

民生文教委員会

●12月15日及び20日
議案第69号、73号、76号、77号、80号、83号及び90号の審査付託議案の審査

(主な質疑内容)

【魚津市一般会計 補正予算について】

◇GIGAスクールについて

Q フィルタリングのラ イセンス料とはどういうものか？
A 5年間使用できるラ イセンス料である。

Q 井原市との児童交流 事業が中止になったが、 タブレットを活用する等 違う形での交流はできな かったのか。
A オンラインでの形も 検討したが、相手側の態 勢もあり残念ながら中止 となった。

◇子育て世帯への 臨時特別給付について

Q 魚津市はどのように 支給する予定か。
A 昨日岸田総理から年 内一括給付が可能である との考えが示されたこと

に併い、本市でも市民に 還元され、事務手続きが 簡素化される現金給付に したいと考えている。追 加の5万円の補正予算に ついて本会期中に追加提 案したい。

Q 18才まで同時支給さ れるのか。
A 高校生のみの世帯や 公務員の世帯等は1月か ら申請を受け付け、10万 円一括支給となる。



【魚津市水族館事業特別 会計補正予算について】

Q 入場者数はどれくら い減少したのか。
A 11月末現在で、コロ ナ前の令和元年度と比べ ると令和3年度は約3割 減である。

Q 「魚津のさかなII」の コンセプトは。
A 前回は図鑑形式だっ たが、今回は水族館のガ イドブック的なものを考 えている。

に併い、本市でも市民に 還元され、事務手続きが 簡素化される現金給付に したいと考えている。追 加の5万円の補正予算に ついて本会期中に追加提 案したい。

産業建設委員会

●12月15日
議案第69号、84号、86号、89号及び陳情1件の審 査付託議案の審査

(主な質疑内容)

【魚津市一般会計 補正予算について】

◇公共交通運行維持支援 事業について

Q 路線バスへの支援か ら、市民バスの運行に移 行すべきでは。
A 今の支援額であれば 市民バスを運行するより も安価である。市民バス を運行する場合の試算は、 様々なパターンをシミュ レーションしたい。

◇総合公園等指定管理料 について

Q 指定管理の減収補填 は、どれだけ補填するか、 目安はあるのか。
A 支出を精査し決算見 込額を固め、減収分を見 込んで金額を算出してい る。

【農村集落センター・農 山村文化交流館の指定管 理者の指定について】

Q 施設の地域への譲渡 が出来ない理由は。
A 国の補助を活用して 建設された施設は、一定 期間譲渡が出来ない。譲 渡が可能になった時点で、 地元と協議をしていきま す。

【除雪について】

Q 除雪業者が減少して いるのでは。
A 業者は何か入れ替 わっているが、従来通り 配置できており問題ない。

Q 昨シーズンの除雪の 対応が遅れた反省を踏ま えて対応して欲しい。
A 課題を調べて、地域 ぐるみの除雪で機械が必 要であれば来年度手当て をするなど、意見交換を しながらスムーズな除雪 に努めたい。

【市道認定路線の現地調 査】



仏田地内

企画総務委員会

●12月16日
議案第69号、74号、75号、78号、79号及び85号の審 査付託議案の審査

(主な質疑内容)

【魚津市一般会計 補正予算について】

◇(仮称)魚津市本江地域 交流センター建設事業に ついて

Q 二階建てから平屋に 変更された。隣接地に家 や畑があることを考慮し、 最初から平屋で設計でき なかったのか。
A プロポーザルに当た り、市が二階建てを条件 として提示し、近隣の方 とも、当初は二階建てで 話しを進めていた。その後、 平屋の方がすべての方が 利用しやすいという意見 と、隣接地の方にとって も好条件となることから、 了解を得て変更した。

Q プロポーザルの条件 が平屋であれば、落選し た業者からもっと良い提 案が出る可能性もあった と思うが、どう考えるか。
A 今後見直しが必要と 考えており、検討したい。

【魚津市コミュニティセ ンター条例の一部改正に ついて】

Q 施設使用料が面積に よって決められているが、 商業目的の場合は何割か 上げるという考えはない か。
A 今後見直しが必要と 考えており、検討したい。

プロポーザルは、提 案内容により適した業者 を選ぶものである。提案 された建物自体は、その 後の協議で細部を詰めて いくため、当然変わって いくものであり、今回の 変更も、話し合いの中で 決めていける範囲だと考 えている。

代表質問

代表質問とは、市長の施政方針について会派を代表し大局的見地から行うものです。

新川子ども屋内レクリエーシ ョン施設建設について



自民党議員会
一問一答
関口 雅治 議員

新川子ども屋内レクリエー ション施設建設について

Q 県が示した基本計画 の素案は、魚津市の考え、 意見など取り入れた素案 なのか、又素案の評価は。
A 10月に第3回検討会 で基本計画の素案が示さ れた。幼児から小学生低 学年をメインターゲット とし、雨天、降雪時など にも快適に利用できる屋 内型の施設、又、家では できない遊びや体験を提 供することが出来る独自 性のある施設を掲げてい る。本市の提案を多く取 り入れていただき、魅力 ある施設になるものと期 待している。

Q 今後の整備スケジュール について問う。
A 令和5年度のオープ ー

ンを目指していたが、民 間活力の導入を検討され ることになり、数年遅れ ると聞いている。

Q 小規模警察署の再編計 画について
A 魚津市、各種団体の 意見、考えを問う。
A 魚津署管内では、こ れまで3回の意見交換会 が行われ、統合は止むを 得ないという認識である。 統合しても市民の安心安 全が担保されることが大 事であり、動向を注視し ていく。

Q 12月補正予算で支援 を行うとの事であるが、 市として状況を把握して いるのか。
A 令和5年度のオープ

Q コロナ禍の影響によ り、創業以来最大の赤字 を計上したが、中期経営 計画が策定され、赤字解 消に向け取組まれると理 解している。
A 東蔵線、黒沢・大沢 線は不採算路線であり、 富山地方鉄道から存廃を 含め協議したい旨の申し 入れがあった。赤字分の 補填が運行継続の条件と されている。市民の移動 手段の確保を最優先に、 地鉄との協議と併せて市 民バスへの転換の可能性 も検討していきたい。

Q 取得目的、活用につ いて考えを問う。
A 平成28年の3校統合 当時から学校施設整備を 順次進めているが、スクー ルバスの運行には道路拡 幅等の大きな課題がある。 将来の有効活用に向け、 豊かで快適な教育環境に なるよう、具体的な計画 を今後検討したい。

Q 富山地方鉄道の経営状況 と市内への影響について
A 令和5年度のオープ

県が整備する新川子ども屋内レク リエーション施設と魚津水族館・総 合公園(みらパーク)の連携を図れ。



しおかせ
一問一答
浜田 泰友 議員

令和4年度 行政経営方針について

Q 予算編成について 規模としては今年度 を上回る。収支見込みで は、歳出が増加すること から予算編成段階で4億 円半ばの不足となる。
Q 公共施設のファシリ ティマネジメントやDX・ スマートシティ推進での 外部人材の活用など、組 織の再編・強化に努めて どうか。
A 各担当課において課 題解決に有効な外部人材 との連携を検討している。

Q 魚津水族館・総合公 園との連携について
A どちらの施設も集客

Q 新川文化ホールから 魚津水族館・総合公園へ のアクセスについて
A 魚津市幹線道路網計 画では本市の滑川市側の 国道8号バイパスから海 岸部を連結する構想路線 2路線があるが、整備時 期は決まっていない。案 内看板の設置や既存道路 の一部改良などの対応を 検討する。

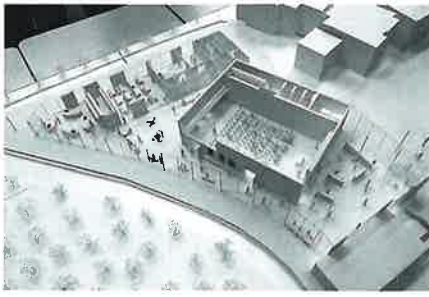
Q 施設を定住促進に繋 げるための課題について
A 国営施設応急対策事 業の対象である「早月川 地区」の実施により、令 和5年度から8年間、農 振除外の規制がかかる。 子育て世代の定住促進が 期待されることから、公 的施設の周辺に限って開

Q 魚津水族館・総合公 園との連携について
A どちらの施設も集客

Q 機能集約と総量抑制 に繋がる工夫について
A 階段を使わず自由に 出入りできるように、鉄筋 コンクリート造2階建て から鉄骨造平屋建てへ設 計変更した。エレベーター を設置する必要がなくな り、事業費の圧縮が期待 できる。

Q 発ができる等、条件付き で手続きができないか関 係機関と相談する。
A (仮称)本江地域交流セ ンターについて

Q 発ができる等、条件付き で手続きができないか関 係機関と相談する。
A (仮称)本江地域交流セ ンターについて



児童生徒の安心安全のため、市内通学路の早急な改善を。



雄心会
八倉巻 正臣 議員

市内通学路について

Q 8月に実施された令和3年度魚津市通学路合同安全点検の対策箇所状況と改善は行われているか。

A 今年の点検では、小中学校等より32箇所の危険箇所の報告があり、全ての箇所を点検したところ、ハード対策が望まれる箇所が25カ所・ソフト対策で対応可能な箇所が7カ所あった。



魚津市表彰の候補者の選考基準について

Q 現在の選考基準にとられず様々な分野で活躍・貢献している人もたくさんいる。その人たちにも、スポットを当てて評価していくことも今後、必要と思うが市の見解は。

A 11月末時点において、ハード対策が望まれる25カ所のうち、16カ所については今年度予算により対策が完了している。ソフト対策が望まれる7カ所については、いずれの箇所もすでに実施中ないしは協議を進めているところである。

A 今後、様々な分野で貢献を重ねておられる方に対し、幅広く表彰が出来るよう選考基準の見直しを随時行っていきたくと考えている。

コロナワクチン接種状況と3回目コロナワクチン接種について

Q 直近の年代別、2回目コロナワクチン接種状況は。また、魚津市の接種率についてはどう評価しているか。

A 12月6日時点では、12歳以上の対象者の87.8%である33,423人が2回接種完了している。65歳以上はもとより、20歳代、30歳代においても高い接種率となった。当初は接種率70%を目安にしていたが、9月27日には70%を超え、10月14日に80%を上回った。接種希望の方に対して円滑に接種が進んだものと考えられる。

Q (その他の質問事項) 人口減少対策について 小規模警察署の再編計画について

個別質問

個別質問とは、議員が市の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すものです。

長期化するコロナ禍での子ども生活リズムの乱れ、対人関係・学習等での困難への対応を。



日本共産党
岡田 龍朗 議員

教育について

Q コロナ禍が長期化する状況下の児童・生徒の生活リズムの乱れ、対人関係・学習等での困難の状況把握と対応について

A 各学校で毎月アンケート調査を実施し、定期的な相談週間を設けることにより、子どもたちの些細な変化の早期発見・対応に努めている。子どもたちが安心して学校生活ができるよう、居場所づくりや継続的な面談を実施している。

Q 「いじめ」「不登校」等の実態とその対応は。

A 認知件数を国・県との令和2年度の割合で比較すると、「いじめ」は、小学校では魚津市0.95%、国6.6%、県1.51%、中学校では魚津市0.30%、国2.51%、県1.42%である。「不登校」は、小学校では魚津市1.18%、国1.00%、県1.14%、中学校では、魚津市6.00%、国4.13%、県3.38%と国・県より高い。

地域経済について

Q プレミアム付飲食券取扱事業者支援事業等の検証、課題について

A 事業者の感染症対策強化を行う助成であり、効果があったと考える。取り組み状況の調査も行っており、対策が不十分な場合は改善をお願いしている。

Q (その他の質問事項) 新型コロナウイルス感染症対策について 林業について

代表・個別質問

- ・事前通告・・・質問したい議員には、前もって質問内容を記した発言通告書の提出を義務付けています。
- ・登壇順・・・公平を期すために、通告書の届出順としています。
- ・質問時間は60分・・・本市議会では、質問時間は答弁を含めて60分以内という制限を設けています。(12月定例会ではコロナ対策のため50分)

個別質問

大雪対策として、除雪能力の向上と情報発信の強化を行うべき。



民進
寺崎 孝洋 議員

大雪対策について

Q 県の大雪対策会議にて「タイムライン」を作成・公表したとあるが、それは何か。また、魚津市にどう関係するのかを問う。

A 県の「災害級の大雪時におけるタイムライン」とは、令和3年1月の大雪を検証し、発生3日前から自治体や高速道路、警察、交通事業者などが取るべき行動を時系列の表にまとめたもので、「顕著な大雪に関する情報」等の気象情報に基づき、対応していくものである。魚津市でも、それら情報が発表された場合など、雪害対策会議を開催し対応していく。

Q 市としての対策強化

A 道路除雪強化として11の地域に、小型ロータリー除雪機を貸与のほか通学路歩道除雪の早朝対応を行っていく。加えて、予備除雪車1台の確保や臨時雪捨て場を新規に2か所確保する。情報発信強化としては、特設ホームページを開設し、特定地域での除雪遅延が発生する場合は、市公式LINE等で発信やNIC E-1TVでのテロップ発信も行っていく。

Q (その他の質問事項) 選挙の投票率について 第5次魚津市総合計画のスマートシティについて 市庁舎について

魚津市制施行70周年 みんなでつなごう！ 未来へのバトン



自民党議員会
林 久嗣 議員

魚津市制施行70周年記念事業について

Q この事業の進捗状況について問う。

A 9月に市制施行70周年記念事業のシンボルマークを決定し、協賛事業を募集している。各担当課において予算の算定、事業内容の検討を進めている。令和4年4月16日に記念式典を行い、70周年を振り返る記念写真展を開催する予定である。

Q メリット、デメリットについて問う。

A メリットは、地域と子どもたちのつながりが生まれること、持続可能な特色ある学校づくりが可能となることである。

Q (その他の質問事項) 地域運営学校(コミュニティ・スクール)について

令和4年度魚津市行政経営方針について



自民党議員会
金川 敏子 議員

令和4年度行政経営方針について

Q 人口減少について、目標値と現在の差と対策は。子育て中の家庭でもう一人産みたい環境づくりを。

A 本年10月の人口は、目標人口数より675人下回る結果となった。若年層の女性をはじめとする子育て世代が本市に住み続けられるよう、雇用の場づくり、住宅対策、子育て支援等、各種施策を推進していきたい。

Q 市制施行70周年事業の展開について、市の魅力の発信、主役の市民が一体感を持って参画し、地域への誇りや愛着を育める取り組みを期待したい。

Q 多くの市民の皆様とともに、一体感を持って記念事業に取り組みたい。どのように行財政運営の効率化を図るか。

A 行財政改革集中プラン、財政健全化計画、定員管理計画、公共施設再編方針の取り組みの着実な実施に努める。

Q 魚津市の女性の管理職登用率は。また県内の登用率は。

A 魚津市は25.6%、高岡市、黒部市が30%を超え、魚津市は県内で3番目に高い。

Q (その他の質問事項) 政府経済対策の保育士・介護職の全員の賃上げについて

公民館のコミュニティセンター化に市民参加を促す仕掛けを。



雄心会 一問一答 松倉 勇 議員

コミュニティセンター化への問題点について

市内13地区のコミュニティセンター化の進捗状況は。

令和2年4月から片貝公民館、令和3年4月から大町公民館がコミュニティセンターに移行しており、令和4年4月から村木公民館が新たにコミュニティセンターに移行する。また、令和5年4月からの移行に向け、上野方、経田、天神地区が地域振興会を中心に協議を進めている。

市民参加を促す仕掛けも必要かと考える。

公民館をコミュニティセンター化することで、今まで社会教育法に規定されていた生涯学習事業に加え、社会福祉活動やコミュニティカフェ、野

菜市など柔軟な事業が可能となり、住民間の交流促進の拠点としても期待する。地域の実情に応じた活動の支援を検討したい。

指定管理者制度への移行により、施設利用料が地区の財源となるが、地区によってバラつきが出ると思われる。

地域が主体的な取り組みをしやすくなるのが最大のメリットである。地域資源の可能性に着目し、環境を整え応援するという姿勢で臨んでいきたい。

（その他の質問事項）

本市の審議会や協議会の数とその委嘱委員の選出について
コロナ禍により疲弊し閉店や廃業した市内飲食店の実態等について

ウェルビーイングの推進を図り、魅力ある魚津、選ばれる魚津を創りましょう。



自民党議員会 一問一答 寺口 智之 議員

令和4年度における施策の方針について

「住民主体の福祉サービス事業」の事業継続に向けた取組みとは。

介護予防の通いの場においては、運営側の資金の確保やスタッフの配置について、事業継続のために丁寧に話し合いながら支援を続けたい。ウェルビーイングの推進について

推進のために県と連携を図る考えはないか。

各種施策の実現に向け、必要に応じ連携を図っていききたい。

各種団体等の活動について、市も一緒に頑張って応援してほしい。

市も協働し、これからの魚津を一緒に考えていきたい。

コロナ禍での取組みについて

学校現場で児童・生徒の心のケアに向けた取組の充実が必要だ。

心のケアの専門職であるスクールカウンセラーの増員等に関し、県に要望していききたい。

地域の祭りや伝統芸能を保存継承するために取組んでほしい。

国の補助事業が予算計上されている。内容や詳細が分かり次第保存団体や地区振興会などに情報提供し、また祭り等の再開に向けての課題等に関し聴取を行っていくことも考えている。

（その他の質問事項）

GIGAスクール構想における学校教育の充実について

あまりにも早い人口4万人割れ。私達は一度立ち止まり、人口減少対策を根本から見直すべきではないか。



越川隆文 一問一答 越川 隆文 議員

魚津市の人口減少について

問題の本質は、出生数の減少。魚津の出生数が年間約200人に減少。転出転入では国全体の人口は増えない。若者が将来設計を描ける社会をつくるのは国策。自治体は住民サービスに徹するべきだ。

人口問題については、国全体の人口を増やす取組みと、地方への住まいを誘導することの2つが重要だと思っている。寛容性と多様性は世界的なキーワードとなっている。

いろいろな価値観を持った人たちを受け容れて、革新的な価値観を生み出していくということを念頭に、頑張っていきたい。

車中泊需要への対応について

車中泊で全国を旅する人が増えている。魚津の海の駅も車中泊のメッカだ。震災以降、災害対応としても見直されてきた。交流人口増加に活用しよう。

車中泊は、コロナ禍において他人との接触を避けながら宿泊費用を抑えるという観点からも、新たな旅のスタイルとして関心が高まっている。車中泊と地域の観光資源を絡めた体験プランや車中泊スポットの提供など全国の先進事例を参考とし、魚津市でも新たな誘客や消費拡大に結び付けることができるのか、今後調査、研究に努めていきたい。

奨学金の返済を支援する取組みを推進し、Uターンの動機づけに。



公明党 一問一答 中瀬 淑美 議員

奨学金返還支援制度の活用について

奨学金の返済に苦しむ若者を応援することで、Uターンや若者の定住人口の増加につながることを期待できる。企業等の意見を聴きながら制度について検討していきたい。

日本学生支援機構の「奨学金返還支援（代理返還）制度」については、企業のイメージアップにもなることから制度の周知に努めたい。

子育て支援について

障がい児支援の提供体制の整備について

児童発達支援センターとして、つくし学園が役割を担っているが、施設老朽化が著しいことか

社会福祉の考え方について



しおかぜ 一問一答 石崎 一成 議員

社会福祉の考え方について

魚津市高齢者保健福祉計画と第8期魚津市介護保険計画の注力ポイント

高齢化率40%超と推測される2040年を見据え、すべての人がいつまでも住み慣れた地域で健康で生きがいを持ちながら相互に支え合う「地域共生社会」を目指し、慢性疾患や生活習慣病、虚弱予防や介護予防に対応した具体的な施策や基盤を中長期的な視点に立って策定したところである。

「身寄り」の無い人が今後増加すると考えられるか。

親族・家族の支援が受けられない人は、入院や施設入所といった際に身元保証人がいない。また、認知症や病気により金銭管理が難しくなるな

個人の尊厳・権利を脅かすものである。先ずは、成年後見人制度や日常生活自立支援事業等の普及啓発や利用促進に努めていく。

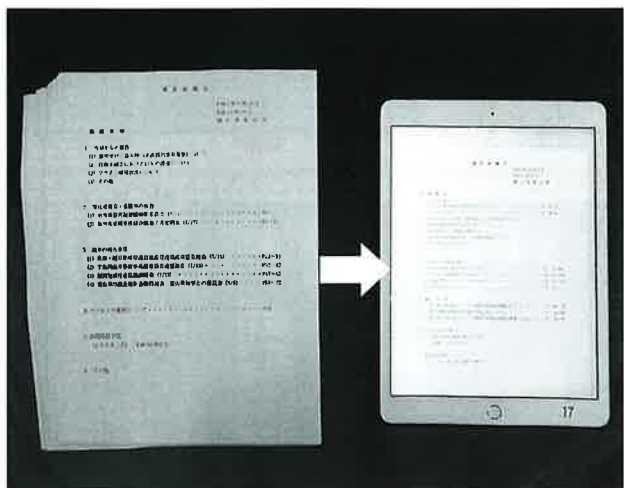
重層化支援体制整備事業への移行は。これまでの制度では対応が難しい実年齢のひきこもりやワーキングプア、関わりを拒む独居高齢者への積極的な取り組みが必要になっていくことからも考えられることから、どういった包括的支援体制が望ましいのかを当事業も含め検討していく。

電子地域通貨ミツパイ事業について

今後の利用拡大はどのようにしていくのか。11月よりMPM方式を導入した。「行政コイン」や「協賛コイン」など、工夫しながら継続的に進めていく。

タブレットを活用 「議会運営や議員活動等の効率化・活発化」並びに「ペーパーレス・電子化」を推進

魚津市議会では、令和3年度から、会議日程や連絡事項等の案内をFAXからEメールに切り換え、タブレットの活用により、各種日程や行事の確認と議員間の情報共有を行っています。また、各常任委員会や特別委員会、全員協議会や議員協議会等において、会議資料を電子書類化（PDF等）し、ペーパーレス化による経費削減や議会事務局業務の効率化、省力化に役立てています。行政視察での情報収集等でも活用しています。引き続き、適切な運用に努めながら、さらなる活用を進めていきます。



会議資料のペーパーレス化

(8) ※重層化支援体制整備事業…分野別の支援体制では対応しきれないような「地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するもの。
(9) ※MPM方式…店舗の設置するQRコードを消費者がスマートフォンアプリで読み取り、金額を入力して決裁する方法。店舗が専用の読み取り機を導入する必要がなく、初期導入コストが抑えられる。

【日程】
11月4日～6日

【視察先】
沖縄県豊見城市
(かりゆし水族館)

【視察事項】

民間による水族館運営について

【概要】

那覇空港から車で約20分。大型ショッピングセンターに併設され、周辺は美らSUNビーチ等があるリゾートエリアである。

【所感】

映像を活用した演出とスマートフォンによる館内の案内など工夫が見られ、話題性を高める手法の一つとして考えられる。集客力から見ると、本市でそのまま真似をすることはできないが、民間事業者による娯楽性のある運営など、学ぶ点は多い。

【視察先】

沖縄県名護市

【視察事項】

サイクリングによるまちづくりについて

【概要】

名護市は平成23年に循環型環境都市の形成を施政方針に掲げ、

日常と観光の両面で自転車によるまちづくり事業を行っている。

平成24年から市道の自転車レーンカラー舗装、ピクトグラム表示板整備を進めている。また、

滋賀県守山市、愛媛県今治市と、自転車を通じたまちづくり交流協定を締結し、国内外から誘客を図っている。

【所感】

本市においては、全長35kmの周遊ルートが整備された。今後、市内観光地とのリンク、サイクリング支援拠点の年度整備計画の作成等により、観光、健康、環境面における総合的なまちづくりに結び付けることが必要であると思われる。



【視察先】
沖縄県沖繩市

【視察事項】

コワーキングスペース
「Startup Lab Lagoon KOZA」の運営について

【概要】

コザ地区の空き店舗を改装した、起業、創業支援の施設を視察した。

起業相談の他、フードビジネス体験が可能な、営業許可が取得できるトライアルキッチン、

3Dプリンターやレーザーカッターで、実際に試作品を作れるファブスペース等を備え、金融機関とも連携し、開業資金の相談も可能ななど、事業を始めるためのソフト、ハードが充実している。

【所感】

新たな発想を持った起業家を支援する寛容さと、それを支援



企画総務委員会

【日程】
11月16日

【視察先】
福島県磐梯町
(オンライン視察)

【視察事項】

行政のデジタル変革戦略について

【概要】

CDO(最高デジタル責任者)を任用し、外部人材のスキルを活かし、行政事務や地域サービスのデジタル化を積極的に進めている。また、デジタル変革戦略室が3年間だけの時限組織として設置され、各課横断的にデジタルの定着、体制づくりに取り組む。

【所感】

正規の職員でなくてもできる業務をICTや外注に変更し、業務負担を改善しており、業務の刷新を定期的に行うことは参考になる。
CDOを組織に取り込み、役所内の情報が縦にも横にも通じ

する専門家集団の存在、起業家同士が繋がる仕組みが、人が集まり、安心して相談できる原動力であると感じられた。

るような風通しをよくする仕組みを作るのが重要であり、市長を含めた全職員の意識改革・情報共有が必要であると考え



地域振興とまちづくり(特)

【日程】
11月17日～18日

【視察先】
柏の葉アーバンデザインセンター

【視察事項】

柏の葉国際キャンパスタウン構想及び柏の葉かけだし横丁について

【所感】

魚津市とは人口規模や立地条件、資金量が全く違うが、先進的な取り組みには参考となるものがあつた。中でも、コンテナ型飲食店街のかけだし横丁は本

特別委員会行政視察報告

市でも検討の余地があると思われる。



【視察先】

茨城県小美玉市

【視察事項】

羽鳥駅周辺整備事業について

【所感】

羽鳥駅は橋上駅舎、東西自由通路、東西駅前広場の整備を行い、令和2年2月に供用を開始した。小美玉市の場合、JR線だけであるが、魚津市の場合、「あいの風とやま鉄道」と「富山地方鉄道」の2線が走り、その間にはJR貨物の敷地があることから、自由通路が長くなり、建設費が高むと予想される。東西自由通路には23人乗りのエレベーター(ストレッチャー対応)と公衆トイレが設置され、だれもが安全安心に利用できるようバリアフリー化を実現し、利便

性の向上が図られている。エスカレーター設置の意見があつたものの、駅前広場が手狭になり一般乗降場の台数が減るなどの理由で導入されなかつた。将来魚津駅整備の際にも検討される点と思われる。



【その他視察先】

神立駅、龍ヶ崎駅

公共施設再編整備(特)

【日程】
11月18～19日

【視察先】

山形県長井市

【視察事項】

新市庁舎の建築について

【概要】

令和3年5月に竣工した長井市本庁舎を視察した。全国初の駅舎と合体した庁舎である。
・延床面積 8319.5㎡



【視察事項】

旧小学校校舎の活用について

【概要】

長井市旧長井小学校第一校舎を視察した。昭和8年に建築された校舎であり、平成21年、国登録有形文化財に登録、平成31年に交流施設としてリニューアルオープンした、学びと交流の施設である。

【所感】

指定管理者は東京に本社のある事業者で、顔認証システムによる利用者分析などのノウハウを生かしつつ、地元採用の職員による企画・運営により、高い稼働率を保っている。
歴史的建造物というだけでなく、地元住民の愛着、職員の企画力、指定管理者のノウハウが、うまくマッチした事例であると感じられた。

3月定例会日程

1日(火)	本会議開会 (提案理由説明)	10時
10日(木)	本会議 (代表・個別質問)	10時
11日(金)	本会議 (個別質問)	10時
14日(月)	予算特別委員会	9時
15日(火)	予算特別委員会	9時
16日(水)	予算特別委員会	9時
18日(金)	民生文教委員会 産業建設委員会 (現地調査)	10時 14時30分 13時
22日(火)	企画総務委員会	10時
23日(水)	本会議 (討論・採決)	13時30分

※会議の予定は変更する場合があります。
日程は、魚津市議会のホームページでもお知らせしています。

市議会を傍聴しませんか

本会議と委員会は、どなたでも傍聴できます。
市民の生活に関わる市の条例や予算などがどのように審議・決定されているのかご覧になりませんか？
市役所4階の傍聴受付で、住所、氏名等をご記入の上、入場してください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。事前に魚津市ホームページをご確認ください。

議会中継を見よう

生中継 ・インターネットで見る

魚津市議会中継

検索



・NICE TVで見る 092CH

再放送 ・NICE TVで見る 092CH

録画配信

魚津市議会録画配信

検索



会議録の検索をしよう

魚津市議会会議録

検索



議場見学【税金探検団】

・よつば小学校6年生 (11月17日)



【議会だより編集委員会】

委員長 水田万輝子
副委員長 寺口 智之
委員 石崎 一成
八倉 卷正臣
石倉 彰
越川 隆文



(水田万輝子)

コロナ禍で全国的に出生数の減少が見られる中、魚津市においては人口減少が予測を超える速度で進行しています。議会では、市民の皆様が胸を張って「魚津に生まれ育って良かった」と言える暮らしやすい街にするために、さまざまな案件を議論しておりますので、ぜひ傍聴にお越しください。傍聴に來られない方は、議会中継やYouTube配信でもご覧いただけます。会議録の検索もできますので、上記QRコードからご利用ください。

会議目誌

- 10月 22日 地域振興とまちづくり(特)
- 11月 2日 公共施設再編整備(特)協議会
4日~6日 産業建設委員会行政視察
8日 議員協議会
議会運営委員会
企画総務委員会協議会
16日 企画総務委員会行政視察
17日~18日 地域振興とまちづくり(特)行政視察
18日~19日 公共施設再編整備(特)行政視察
24日 議会運営委員会
全員協議会
30日 議会運営委員会
11月臨時会
民生文教委員会
企画総務委員会
議会活性化検討会
- 12月 2日 議会運営委員会
本会議(提案理由説明)
全員協議会
13日 議会運営委員会
本会議(代表・個別質問)
14日 本会議(個別質問)
各派代表者会議
議会活性化検討会
15日 民生文教委員会
産業建設委員会
16日 企画総務委員会
議会運営委員会
20日 本会議(討論、採決)
民生文教委員会
議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 1月 13日 議会だより編集委員会
議会活性化検討会
17日 議員協議会
公共施設再編整備(特)

※(特)は特別委員会

編集後記